松岡議員（自民議連）

平成 28 年２月 29 日
知 事 答 弁 実 録
（経営戦略審議官）
（ 教 育 委 員 会 ）
（ 健 康 福 祉 局 ）

（問）東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた県の取組について

平成２６年に策定した「広島県スポーツ推進計画」で，東京オリンピック競技大会に本県ゆかりの選手を２３人以上輩出することなどを目標としているが，昨年の国体は総合２１位に終わり，選手の育成が順調にできている状況ではないことから，しっかりした育成方針が必要と考えている。

オリンピック・パラリンピックは，世界のトップレベルの競技が行われる大会であり，参加選手は，好成績を残すために日々トレーニングに励んでおり，その最終調整として開催地付近での合宿を行い，大会に臨んでいる。

この事前合宿を本県に呼び込み，トップレベルの競技に触れる機会を作ることで，単なる機運醸成にとどまらず，県内のスポーツを志す選手の意識や競技力の向上による中・高校総体や国体での活躍促進や地域の活性化などに結び付ける必要がある。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて，選手育成の基本方針と，事前合宿・国際大会の誘致に向けた県の取組状況について，知事に伺う。

（答）

東京オリンピック･パラリンピック競技大会の開催効果を本県に取り込み，地域の活性化を図り，本県の魅力を内外に発信していくためには，選手の育成，事前合宿・国際大会の誘致などが重要であると考えております。

まず，東京オリンピック競技大会の選手育成につきましては，前回１９６４年大会に出場した２３名以上の選手の輩出を目標に掲げ，「広島県スポーツ推進計画」に基づき，競技力向上対策を実施いたしております。

この目標を達成するためには，まず本県の優れた選手が，全日本の強化選手に指定されることが必要でありますことから，海外遠征や国内拠点施設での合宿などに参加させるとともに，中央のトップコーチを招へいした県内合宿を開催し，より質の高い練習を積ませることにより，競技力の強化を図っているところでございます。

こうした取組などにより，東京オリンピック競技大会での活躍が期待でき

る高校１年生から大学１年生までの世代で，本県ゆかりの選手が，平成２７年度中に，日本代表選手や強化指定選手などに２５名選ばれております。

今後も，こうした選手が日本代表等に継続して選ばれるとともに，新たな選手が日本代表等に選ばれるよう競技力の強化を図り，確実に目標を達成したいと考えております。

また，東京パラリンピック競技大会につきましては，本年１月に設立された「広島県障害者スポーツ協会」への支援を通じて，障害者スポーツ競技団体や特別支援学校等と連携した有望選手の発掘，選手強化のための講習会や合同練習会の開催，アスリート指導者等による競技力向上プログラムの策定等を進めてまいります。

これらの取組により，全国大会や国際大会などで活躍する選手を育成し，東京パラリンピック競技大会には，これまでの大会における本県在住選手の出場実績３人を上回ります４人の出場を目指してまいります。

次に，事前合宿・国際大会の誘致につきましては，これまでに，市町や県内の競技団体との連携を進めますとともに，本県出身のスポーツ関係者，県内外の競技団体や政府機関等を通じた働きかけを鋭意行っており，その中で，第６回アジア体操競技選手権大会や，アジアトライアスロン選手権大会の実施が実現しております。

今後さらに，スポーツによる相互交流を目的とした，国の「ホストタウン構想」を活用し，具体的な相手国や，競技種目を絞りながら，市町，競技団体等と連携し，事前合宿や，国際大会誘致を具体的かつ確実なものとするために，活動を加速させていきたいと考えております。

こうした取組によりまして，東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を本県に取り込み，スポーツによる相互交流を通じて地域活性化を図り，内外から注目される魅力ある広島を実現したいと考えております。